

「ピンクリボン月間(10/1～10/31)」に寄せて ～沖縄県の乳がんの現状と、私たちが果たすべき役割～

マンマ家クリニック 國仲 弘一



はじめに

毎年10月は世界的な乳がん啓発月間であり、「ピンクリボン運動」が各地で展開されています。乳がんの早期発見・早期治療の大切さを伝えるピンクのリボンは、今や広く社会に定着した感がありますね。しかし、私たち沖縄県の医療従事者が向き合うべき現実、未だ多くの課題を抱えたままでもあります。本稿では、沖縄県における乳がんの最新の現状と検診をめぐる課題を整理し、地域の健康を守る医師会員の皆さまとともに、私たちが今できることについて考えてみたいと思います。

全国ワーストレベルにある沖縄県の乳がん罹患率

最新の統計を紐解くと、そこには少し驚くべき、そして胸が痛む事実が見えてきます。現在、沖縄県における女性のがん罹患数の第1位は乳がんであり、女性のがん全体の4分の1以上(約27～28%)を占めています。さらに深刻なのは、年齢を調整した罹患率において、沖縄県は全国でもワースト上位の常連になってしまっている点です。

かつて沖縄は「健康長寿の島」と称され、健康やかなライフスタイルが定着しているイメージが強かったかと思います。しかし近年の食生活の欧米化や肥満率の上昇、さらには初経・閉経年齢の変化、出産経験の減少といったライフスタイルの変化が、乳がんリスクを押し上げる要因になっていると考えられています。特に、40代から60代の働き盛り・子育て世代の女性における罹患数が最も多く、社会や家庭の中核を担う大切な世代の女性たちが、いま大きな脅威に直面しています。

低迷する乳がん検診受診率

罹患率が高いのであれば、早期発見のため、「乳がん検診」がしっかりと機能していなければなりません。国はがん検診の受診率目標値を、「50%以上」と定めています。しかし残念ながら、本県における乳がん検診受診率は、10%台から20%台前半を推移しており、全国平均を大きく下回る低迷が続いています。

受診率が伸び悩む背景には、離島やへき地を抱える本県特有の地理的要因もあるでしょう。しかしそれ以上に、「私は大丈夫」「症状がないから行く必要がない」「マンモグラフィは痛い」と聞いたから怖い」といった、心理的なハードルや誤解も大きな壁になっているように思います。

乳がんは、早期(ステージⅠ)に発見して適切な治療を行えば、10年相対生存率が95%を超えます。「治せる時代のがん」であるからこそ、この検診受診率の低さは、本来救えるはずの笑顔を見過ごしているかもしれないという点で、我々医療者にとって克服すべき課題だと感じています。

医師会の先生方へ。日常診療における「一声」の温かい力

乳がん検診の受診率向上や、日頃から自分の乳房を意識する生活習慣(ブレスト・アウェアネス)の普及は、決して乳腺外科や産婦人科だけの専門領域ではありません。むしろ、日頃から患者さまとの間に温かい信頼関係を築かれている内科や小児科、整形外科といった他科の先生方の「日常診療における一声」こそが、患者さまの背中をそっと押す最大のスイッチになると確信しています。

先生のご施設に定期受診されている患者さま方や、お子さまの予防接種に付き添ってこられるお母さま方に対し、「そういえば、今年の乳がん検診はもう受けましたか？」と、一言声をかけてみては頂けないでしょうか？たとえば生活習慣病のアドバイスの延長として、あるいは世間話のひとつコマとして発せられる、かかりつけ医の先生からの言葉は、どんな啓発ポスターよりも重みがあり、患者さま方に安心と行動する勇気を与えてくれると思います。

また、患者さまから「胸にしこりがあるような気がする」「検診で要精査になったけれど、どこに行けばいいかしら」と相談を受けられた際には、我々乳がん専門クリニックへご用命下されば幸いです。

おわりに

ピンクリボン月間に因み、沖縄県の乳がんや乳がん検診の現状について書かせて頂きました。10月は地域に暮らす女性の健康について、私たち医療者が改めて思いを寄せる大切な機会ですね。日々お忙しい診療の中とは思いますが、目の前の患者さまに「検診受診」の優しい一言をお願い申し上げます。乳がん検診受診率の増加が、沖縄の女性を守り、沖縄の家庭の笑顔を守ることを心から願っています。

お知らせ

日本医師会定例記者会見に関する周知

日本医師会では原則、毎週水曜日に定例記者会見を開催し、松本会長始め常勤役員が日本医師会の考えや取り組みなどについて説明しています。
その模様は下記の広報物に掲載していますので、ぜひご覧下さい。

■ 日本医師会公式
YouTube チャンネル



■ 日本医師会ホームページ
「日医 on-line」



問い合わせ先：日本医師会広報課 E-M:kouhou@po.med.or.jp

■ 沖縄県医師会公式
YouTube チャンネル



■ 沖縄県医師会ホームページ

